

海棲哺乳類の多様性—東アジア沿岸域の現状

Diversity of Marine Mammals—Along the Asian Coasts



国立科学博物館上野本館・日本館 2010.08.26(木)～08.28(土)

スナメリ、コククジラ、ゴマフアザラシ、トド、ジュゴン — 東アジア沿岸の海には、様々な海棲哺乳類が生息しています。沿岸域は私たちにとって身近な水域であり、私たちの社会生活の影響を最も受けやすい場所でもあります。国際シンポジウム『海棲哺乳類の多様性—東アジア沿岸域の現状』では、ここでの海棲哺乳類の現状と共生について、それぞれ専門の研究者がわかり易く紹介、解説します。

一般公開 8月28日(土) 9:30～18:30

於：上野本館・日本館2階講堂

第1部 沿岸域の海棲哺乳類の現状／第2部 海棲哺乳類から何を、どう学ぶか／第3部 沿岸域の海棲哺乳類との共生

対象...高校生以上一般

募集定員...70名 定員を越えた場合は抽選となります

参加料...1,500円／昼食(弁当, 希望者の方のみ。予約制) ...1,000円

締切...7月30日(金)

お申し込み

科博ホームページ, 国際シンポジウム「海棲哺乳類の多様性」

http://www.kahaku.go.jp/event/2010/08inter_sympo/index.html

専用申込フォームからお申し込みください。

※はがき、電話でのお申し込みはできませんのでご了承ください。

※弁当の予約をご希望の方は、コメント欄にご希望の数量をご記入ください。

お問い合わせ

国立科学博物館 連携協力課 国際担当 international@kahaku.go.jp



2010年は国際連合が定めた「国際生物多様性年」にあたります。10月には名古屋市で生物多様性条約の第10回締約国会議(COP10)が開催されます。国立科学博物館でも、生物多様性をメインテーマとする特別展「大哺乳類展」を開催。7月からは「大哺乳類展—海のなかまたち」と題し、イルカ、クジラ、ジュゴン、マナティ、オットセイやアザラシなど、海棲哺乳類の進化と生態を展示しています。

国際シンポジウム「海棲哺乳類の多様性」は「大哺乳類展—海のなかまたち」の関連イベントです。シンポジウムで紹介される哺乳類たちを、展示場でも是非ご覧ください。



主催：国立科学博物館
後援：文部科学省・環境省(予定)・朝日新聞社・TBS
国際自然保護連合・日本哺乳類学会
日本動物園水族館協会・日本セトロジー研究会

 国立科学博物館
National Museum of Nature and Science



海棲哺乳類の多様性—東アジア沿岸域の現状

一般公開日 2010.08.28(土) プログラム

9:30-9:40 開会の挨拶

1. アジア沿岸域の海棲哺乳類の現状

- 9:40-10:00 揚子江における鯨類保全と
絶滅の可能性が高いヨウスコウカワイルカ
Wang Ding, Wuhan Hydro Biology Center (中国)
- 10:00-10:20 ガンジスカワイルカの現状
Ravindra Sinha, Patna University (インド)
- 10:20-10:40 アジア沿岸域に分布するスナメリ
粕谷俊雄, 元帝京科学大学 (日本)
- 10:40-11:00 休憩

11:00-11:20 タイ海域の沿岸性鯨類

Surasak Thongsukdee, Marine and Coastal Resources Research Center, Upper Gulf (タイ)

11:20-11:40 日本周辺におけるミナミハンドウイルカの生活

白木原美紀, 東邦大学 (日本)

11:40-12:00 北海道周辺の鰭脚類

小林万里, 東京農業大学 (日本)

12:00-12:20 アンダマン海におけるジュゴンと藻場の保全

Kanjana Adulyanukosol, Marine and Coastal Resources Research Center, Upper Gulf (タイ)

12:20-13:50 休憩

2. 海棲哺乳類から何を、どう学ぶか

- 13:50-14:10 ストランディング個体調査による海棲哺乳類のリスクファクター評価
田島木綿子, 国立科学博物館 (日本)
- 14:10-14:30 ストランディングした海棲哺乳類を用いた化学汚染物質モニタリング
田辺信介, 愛媛大学 (日本)
- 14:30-14:50 海棲哺乳類から何を、どう学ぶか
山田格, 国立科学博物館 (日本)
- 14:50-15:10 休憩

3. 沿岸域の海棲哺乳類との共生

- 15:10-15:30 水族館は海棲哺乳類の保全にどう貢献できるか
荒井一利, 鴨川シーワールド (日本)
- 15:30-15:50 台湾でのイルカ・クジラに対する意識の変革
Lien Siang Chou, National Taiwan University (台湾)
- 15:50-16:20 沿岸海棲哺乳類の保全
Randy R. Reeves, Okapi Foundation (カナダ)
- 16:20-17:20 総合討論, 閉会の挨拶
- 17:20-18:30 特別展『大哺乳類展—海のなかまたち』見学

